



広報

おゆみ

第55号

平成28年1月15日
発行：町内総務部
生実町会館 ☎268-1946

生実町ホームページ

<http://www.oyumi.com>

~~~~伝統と創造のまち~~~~

生浜地区運営委員会設立

生実町町内会



会長 丸嶋 義雄

新年おめでとうございます。昨年は町内会活動に協力いただきありがとうございました。おかげさまで年間行事も無事終了して良き新年を迎えることができ、役員一同心より感謝しています。

生実池の護岸工事は三月末に、仮称「生実公園」は来年度内に完成予定で進んでいます。池の周辺は木々が生い茂り、その静けさのなかでも、春には満開の桜、少し間をおいて大賀蓮の花が咲き、池にはまだ飛び去らぬ鴨の群れ、夏には湖畔を彩る花火大会、天気の良い日は、公園で遊ぶこどもの声、休息と自然を楽しむ人々が思い浮かびます。

生浜地区連絡協議会では、「安全と安心のできる住みよいまちづくり」を目指し、行政などの関係機関と協働して、平成二十七年四月に生浜地区運営委員会が設立し、生浜地区全体に共通する課題に取り組むため、「青少年部会」、「高齢者・要支援者部会」、及び「防災部会」を設け、各部会において、以下の活動を行います。

(一)、青少年部会
ア「あらたな力で見守る町づくり生浜」の活動を引き継ぎ、児童・生徒が不

審者等から身を守る制度である「こども110番のいえ」が有効に機能するよう、目印を刷新する。

イ 児童・生徒が安全に登下校できるよう、PTA、子ども会、セーフティウォッチャー、老人会及び地域住民が連携した見守り活動を行います。

(二)、高齢者・要支援者部会
高齢者・要支援者が安心して日常生活を営むことができるよう、以下の活動を行います。

ア「みんなで見守る町づくり生浜」の活動を引き継ぎ、民生委員・児童委員、千葉社会福祉協議会生浜地区部会、老人会及び地域住民が連携した、「一歩引いた位置からの見守り」（安否確認等）の実施について検討を行います。

イ 振り込め詐欺等の被害に遭わないための情報提供及び相談対応を行います。

(三)、防災部会
ア「あらたな力で見守る町づくり生浜」の活動を引き継ぎ、大規模災害（特に大地震）発生時における避難行動要支援者の安全確保のあり方について検討します。

イ 避難所開設・運営訓練の企画立案を行います。

ウ 地域における防災訓練の実施に関する情報交換等を行います。

町民の皆様は運営委員会へ加入していただき、共に活動していただくことにより、暮らしやすく、心の触れ合う町づくりに向けて全力で尽くしてまいりたいと考えております。

副会長 長谷川 功

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、日頃より町内会活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。また、町内運動会をはじめ、盆踊り花火大会・秋季例大祭と町内三大行事も事故も無く終える事が出来、重ねてお礼を申し上げます。

昨年は、五月に口永良部島の噴火、九月には豪雨による鬼怒川の氾濫等、自然災害による被害が各地に起きております。また、蘇我地区では、竜巻により何棟もの家が崩壊するという災害も発生しています。幸い生実町では、そのような災害は起きていませんが、いつ起きてもおかしく無い状況だと思えます。生実町では、防災倉庫にまだ少量ではありますが、非常食・炊き出し道具、そして婦人会さん作成の簡易トイレ等々いろいろな災害用具を備蓄しています。

今年も、三月六日（日）に生浜地区の一斉避難訓練が実施される予定です。皆さんも是非参加して、異常気象に備えましょう。よろしく願います。

副会長・文教科体育部長

増田 文夫

町内は、町内活動へのご指導、ご協力を頂きありがとうございます。昨年中は、町内活動へのご指導、ご協力を頂きありがとうございます。

町内会の三大行事（体育祭・盆踊り花火大会・祭礼行事）を無事に行う事ができました。町内の行事は、幅広い年齢層の町民による交流と親睦です。子ども達が大人や年齢の違う子供と関わる機会も少ない現在、より多くの町民が参加できるように活動していきます。そして安心で安全な町づくりを目指します。

町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

総務・会計部

部長 中村 洋一

新しい年を迎え町内会会員の皆様におかれましてはご健勝の事とお喜び申し上げます。

昨年の四月二十五日の総会により始まりました町内会活動・行事も新年会まで終わりました。三月十九日の決算総会を残す所となりました。これも、町内会会員の皆様のご理解、ご協力を頂いたものと感謝申し上げます。

また、本年度増額となりました町内会費の集金も各組長様のお力で終える事ができ、予定しておりました生実町会館の照明もLED仕様に交換する事ができました。これからの予算計画を立て、町内会館が利用しやすくなる様に修繕できれば幸いです。本年度も、役員同様に活動して頂きました組長様、諸団体・諸関係の皆様にお礼申し上げます。

なお、二十八日三月は役員改選となります。十二月十二日に選考委員が発足し、回覧でお知らせしている様に生実町会館に選考用紙を用紙してあります。結びになりますが、今年一年が会員皆様に良い年であります様に祈念申し上げます。

環境部

岡田 幸治

明けましておめでとうございます。町内会の皆様方には、日頃より町内美化活動へのご参加、ご理解、ご協力を頂きましてこの場をお借りしお礼申し上げます。

只今、生実池では昨年度に引き続き護岸工事が行われています。現在は池の南側

(盆踊り会場側)を工事中であり、今年度をもってすべての工事が終わります。皆様の思いが伝わり、生実池は三年間で本当に綺麗に生まれ変わることができました。

寒い冬が終わると、湖畔に並ぶ桜の木の花びらが膨らみ始め満開となります。夏にはたった四日という命の大賀ハスの花が咲きます。

そして町内の皆様が心待ちにしている盆踊り大会、大賀ハスの花に負けずと夜空に咲く大輪の花、そう一花火大会と続き、四季を感じられるとてもいい場所です。

昨年訪れなかった方は暖かくなる頃には是非、足を運んでいただけたらと思います。

そして、昨年土地を寄贈していただき、今まで生実町にはなかった大きな公園、仮称「生実公園」の計画が、完成に向けて進んでおります。

感謝の気持ちを、整備された公園に！子供たちの遊び場、そして大人の憩いの場になるよう、行政と打ち合わせを行いながら計画を進めておりますので楽しみにお待ちください。

また、環境部では一年を通してごみステーションの見回りを行っており、我々の街を汚すような不法投棄は絶対許さない！毅然たる態度でしっかりと対応して参りたいと思います。皆様もルールに沿ったゴミ出しにご協力心よりお願い申し上げます。

防災・防犯部

部長 仲居 一彦

明けましておめでとうございます。町内会々員の皆様におかれましては、日頃より町内会活動に御支援、御協力、誠に感謝申し上げます。昨年は国内外で様々な災害がおきて

おります。中でも常総市における鬼怒川の氾濫では甚大な被害を出しており、身近では蘇我でも竜巻による住宅の損壊が起きております。こうした想像もしていなかった災害が年々起き、いつ、生実町にもおそってくるかわかりません。町民一人一人が災害に備え意識を高めておいて下さい。

三月には避難訓練も計画しておりますので、多くの皆様の参加をお願いします。

又、少年、少女がまきこまれる事件も最近よく耳にします。町会といえませんが、青パトによるパトロールを強化していきたいと思っておりますので、町民皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

青年会

会長 岸 健一郎

新年おめでとうございます。

生実町青年会会長の岸です。

平素より青年会活動に御協力・御支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

生実町青年会は年間を通し、春に生実池の鯉釣り上げ、夏に盆踊り大会、秋に生実神社祭礼の奉納演芸大会などを行っています。

青年会では、二十歳から六十歳迄、少しでも青年会活動に協力して頂ける男性を募集しています。

興味のある方は、お手伝いからでも構いませんので、お近くの青年会員に声を掛けて下さい。宜しくお願いします。

婦人会

会長 中村 しめ

新年おめでとうございます。

生実町、子供見守り活動がスタートして八ヶ月、第二、第四金曜日、東小



▲プレーパーク



◀共生苑慰問

校時の安全のお手伝いをしております。また、

生浜小、生浜東小、大蔵時小の

子供を対象に、淑徳大学の学生

と生実町町内会、子ども会、百寿会、

婦人会で共生苑わきのプレーパーク会

場で、年五回、自然の中で様々な遊びや、農業体験、大根、にんじん、さつまいも等の種まき、そして収穫祭、婦人会も七十名ほどの、とん汁作りのお手伝いをしました。

十一月十九日共生苑へ慰問に行きました。持ち前の主婦パワーを発揮し、

歌、踊りを披露し大変喜ばれ「また来て下さい」と云われ、達成感でみち溢れた。十一月三十日、親睦を兼ねて築

地場外市場、八芳園、六義園に紅葉狩り、秋の一日を楽しみました。

今後また町民の皆様と様々な行事にかかわり、親睦も深めて行きたいと思っております。

子ども会

会長 村上 信也

明けましておめでとうございます。

平素より子ども会活動に御理解、御協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

百寿会

会長 青柳 孝治

明けましておめでとうございます。

町内の皆様には日頃よりご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当会は「健康で楽しく明るく」をモットーに活動を進めております。

健康長寿を目指し、グラウンドゴルフ、ゲートボール、輪投げ、輪踊り、カラオケ等々大勢の方が楽しんでおります。



ゲートボール

日頃より子供達を見守っていただき誠に感謝致します。子ども会の活動として、ましては年四回の廃品回収、公園清掃町内会、関係諸団体、東小学校区子ども会の行事に参加協力しています。又、昨年度から淑徳大学と協力してプレーパークの活動や、貸切バスでの卒業遠足等も行っています。行事を通して会員同士の交流を深めています。少子化や生活様式の多様化の影響で年々会員数が減少し、来年度以降子ども会の活動を縮小せざるを得ない状況になっていきます。子ども達を地域の皆様方と育てていく為に是非子ども会に参加御協力宜しくお願いします。



▲輪踊り



◀グラウンドゴルフ

また環境面では生実池周辺の清掃、草刈り、町内会館敷地内の花植、清掃草刈り、館内の床ワックス掛けを行ない、下校パトロールも一斉のほか当会独自の下校パトロールを月二回程度実施、保育所園児との交流等地域活動にも参画しております。高齢化社会がますます進む中、ひとり暮らしの方や身体の不自由な方々の見守り等が重要な課題となっており、地域をあげての支援取組が望まれる時代になりました。いざれ見守られる時がくることは間違いありませんので町内の皆様と協力しながら支援の一助になるよう努力して参りたいと思っております。今後共ご支援ご指導をお願い申し上げます。なお、入会ご希望の方は常時受付しておりますのでご連絡お待ちしております。

防災会

山口 耕治

町内会の皆様、新年おめでとうございます。

輝かしい新春を皆様健やかに迎えられたことを心より喜び申し上げます。昨年中は防災会の活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。お陰をもちまして生実町内におきましては大きな事故、災害もなく無事に活動できました事を、皆様方に心より感謝申し上げます。

昨年、防災セミナーの中で首都直下地震についての講話があり、地震調査研究推進本部の発表では首都圏での地震の切迫性について今後三十年以内にマグニチュード7程度の地震発生率は七十％程度と発表されております。本年も生浜地区合同の避難訓練が三月に予定されてます。

生実町防災会としては、町内会の皆様のご支援・ご協力のもとに地域防災力の向上を目指した防災活動を進めて参りたいと思っておりますので今後、ご指導・ご鞭撻の程何卒、宜しくお願い申し上げます。

平成二十八年度も皆様にとりまして事故・災害の無い良い年でありますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

消防団

部長 宇野澤 衛

新年おめでとうございます。

生実町消防団部長の宇野澤です。平素より消防団活動にご理解、御協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

生実町消防団では年間を通し、町内各所に設置してあります消火器の点検巡回、火災予防週間に町内巡回、規律・機関連用等の訓練、操法大会に向

け訓練及び大会出場、生実町花火大会の警備など、地域防災活動を行っています。

消防団では、健康で二十歳以上の男性を募集しています。

興味のある方は、見学からでも構いませんので、お近くの消防団員に声をかけていただくか、毎月一日・十五日に消防器具置場において定例を行っておりますのでお越しください。

女性消防団

部長 長谷川 久子

明けましておめでとうございます。町内会の皆様には、日頃より消防に對するご理解とご協力を頂きまして感謝申し上げます。

本年もよろしくお願い申し上げます。私達女性消防団、本年も微力ではありますが、町内会の年間行事を通していききたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

千葉市消防団では、女性消防団員を募集しております。

スポーツ振興会

スポーツ推進委員

理事 中村 勇

明けましておめでとうございます。町内の皆様には輝かしい新春を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

本年度はスポーツ推進委員、地区協力委員の任期替えの年です。四月より改選された新役員のもとでスポーツ推進委員の役割を見直しつつ、市の行事、地域の行事、町内三大イベント等へのお手伝いをしてまいります。尚、高齢者の皆さんからお子さんまでもが楽しめるスポーツ、レクリエーション等を市の講習会に参加し会得しながら

地域住民相互の親睦と体力増進に寄与してまいります。

今後もスポーツ推進にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

生実神社

総代代表 楠木 良孝

生実町始め地域の皆様方には、日頃よりご支援ご協力頂き厚く御礼申し上げます。お蔭様で秋祭りや七五三を執り行い滞りなく終了しました。さて生実神社では節目ごとに祭事を行っています。一月十五日前後に各組毎に行う「おびしや神事」を司っています。

占い神事が基になっていますが生実では、寄り合い的な仕組みになっていて意思疎通の場を祭事を通して取り持っています。かつて「おびしや」は地元の全地区で行われていたが現在三組を残すのみとなりなごみ薄くなりましたが、地域に根差した氏神社ならではの交流の場を設けた生活に密着した祭事で貴重な存在です。

どうぞお見知りください。

生実神社は皆様方からの奉賛奉仕と総代や清掃奉仕の方々の尽力に支えられています。何卒今後ともご理解とご協力賜りたくお願い申し上げます。

民生・児童委員

代表 木村 芳子

町内の皆様には、輝かしい新年を迎えるのとお慶び申し上げます。

日頃、民生委員活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年度は、例年敬老会を開催しております生浜東小学校の体育館が工事の為使用出来ず、会場が生浜中学校体育館に変更となり、出席者の方には大変

ご迷惑をおかけ致しましたこと、お詫び申し上げます。

出席された方、演芸に出られた方、皆様が楽しい一時を過ごしていただき、又、ボランティアの中学生も大変良く働いてくださり、ありがとうございました。平成二十八年度は演芸に出場される方は回覧で募集します。抽選は実行委員全員で行います。



生実町も年々高齢者が増えてまいりました。

民生委員が、五月、六月で調査しました結果を左記に報告します。

65才以上の人数			
	男	女	計
H25年	831	968	1,799
H26年	855	1,005	1,860
H27年	880	1,021	1,901
70才以上の人数			
	男	女	計
H25年	351	440	791
H26年	374	465	839
H27年	400	513	913

内閣府が昨年発表した「一人暮らし高齢者の意識調査によると、会話の頻度が多いほど幸福度も高い傾向があり、

会話が少なく「孤独死を身近に感じる」と答えた人が多かった。家族はもちろんだが、頼れる人が隣り近所にたくさんいれば、安心、安全で過

ごせるのではないのでしょうか。

高齢者に関する悩みや、困っていることがありましたら、千葉市あんしんケアセンター蘇我へ相談して下さい。電話 043-305-0102

生実商工業会

会長 山本 広

町内の皆様には、輝かしい新年を迎えるのとお慶び申し上げます。

日頃生実商工業会会員店をご支援ご利用を頂き誠にありがとうございます。

平成二十二年に（生実は歴史と文化創造の町）と題し生実の歴史を網羅したおゆみマップを作りました。

自分たちが住んでる町がどんな歴史があるのかを知る資料として使って貰えたら最高です。

マップは商工業会の店又生実町会館にあり無料でお配りしていますのでお声をお掛けください。今年も生実町町内会と連携を取りながら、第四十二回目の生実町花火大会、日頃のご愛顧に感謝の大抽選会、年二回の商工業会チャリティーゴルフコンペを通し町内のスローガンである（安心・安全で楽しく暮らせる街づくり）に少しでも協力できるよう会員一同一丸となり協力してまいりますのでよろしく願いたします。又地元企業の皆様の新規入会を随時募集しています。

この新しい年が町民の皆様にとりましてより良い年になりますことを心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



はやし連

代表 岸 健一郎

新年おめでとうございます。

日頃より町内活動にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

はやし連は、盆踊り花火大会、生実神社の祭礼行事に参加協力させていただいております。

生実町ははやし連を代々継承していく為にも、小学校低学年のお子様から高学年の方に教えていきたいと考えております。

太鼓稽古をなかなか多く出来ませんが、生実神社の社務所を借りて稽古をしています。

はやし連に興味のある方は連絡を下さい。

連絡先

080-5436-5575 岸

連携八年目

淑徳大学 磯岡哲也

文科省の方針では、わが国の大学は、国立大学を中心に、①地域のニーズに
応える人材育成・研究を推進、②分野
毎の優れた教育研究拠点やネットワーク
の形成を推進、③世界トップ大学と
伍して卓越した教育研究を推進、の三
つに類型化される見込みです。淑徳大
学は、私学ですので、直接な影響はあ
りませんが、仮にこの三つのなかで選
択するとすれば、①の道を探っていく
ことになると思います。

生実町町内会との連携は足かけ八年
目を迎えますが、これは、まさにこの
道の魁といって良いと思います。毎年
磯岡ゼミを中心に、餅つき大会、体育
祭、盆踊り・花火大会、子どもみこし
で警備や交通整理などを通して、地域
コミュニティを体験的に学ぶ機会をい

ただいております。

学生諸君にとって、生実町は忘れ
られないまちになっているはずで
す。

どうぞ、本年も引き続きよろしくお
願い申し上げます。

組長になって

六番三組 組長 内山昭彦

十数年振りに組長の役が回ってきま
した。組長会議や町内行事にしっかり
参加が出来るか不安でしたが何とか一
年を終われそうです。

私はこの生実町で生活し四十五年以
上になります。子供の頃から町民大会
や花火大会、秋の祭りなど多数の行事
に参加してきました。子供の頃に参加
した行事が今でも続いている事にとて
も嬉しく思うのと同時に感激深いもの
があります。

これも偏に町内会役員の方々の熱心
な活動のおかげだと思っています。

今回、数年振りに地区の運動会へ参
加しました。それも十八歳になる子供
と一緒にです。子供が小学生の頃には
何度か一緒に参加しましたが、まさか
十八になった子供ともう一度参加する
とは夢にも思いませんでした。私が一
緒に参加する事を進めたのですが、久
しぶりの親子の時間を過ごせたかと思
います。

組長の仕事を通じて町内行事に携わ
ると、普段気付かない事や役員の方々
の働きや苦労に頭が下がります。

組長の役も残り僅かとなりました。
お役に立つ事やお手伝いも出来ません
でしたが二年間ありがとうございました。

十一番五組 組長 表 一郎

広報おゆみ第五十五号の原稿を依頼
されまして、まず戸惑いました。実は

各組長様方は皆様組長会議それに伴い
ます各種行事に率先して参加をなされ
たことに感謝しつつ拝読しておりました。

私事になり申し訳ありませんが、国
勢調査員二回、組長役今回で二回を迎
えておりますが今年度につきましては、
当地で御世話になり成長した長男と小
生の妻が実行し軍師役となり実質的に
は名義人で投稿しますことで御座居ま
すので、投稿に際しまして例年の組長様
方とは異なりますこと御容赦願います。

まず当町内で三十年余になり三世代
にて居住しております、当町内が凶
悪な事件もなく、長年に亘り平穏であ
ること感謝いたしておりました。

これも一重に町内会として、年間を
通じ、各種の行事がなされておられ、た
めに住人の安全第一が計画され実現さ
れておりましたこと、特に参加するた
めの可能な行事が毎年実施され、なか
でも千葉市のほか他地区の方々も見物
におとずれ、「生実町といえば花火」
の返答が多くあり、最高のヒット行事
といえます。でも例年実施するため当
事者の方々には、年々厳しくなる現実
に對しての苦勞が察しられます。今後
も閉じることをなきを祈ります。ため
に花火の共催金等住人の方々にも協力願
えればと集金しつつ思っておりました。
末尾に当町内の平穩な居住が将来も
続けられますよう、戦災を幾多となく
体験しての切実な要望です。

六価クロム 水質検査のお知らせ

日時 2月7日(日曜日)

午前8時~10時

場所 生実町会館

生実神社

詳細は回覧板にてお知らせをいた
しますが、時間等お間違えのないよ
うにご協力お願いいたします。

生実のむかし ③

今井公子

本満寺様の裏門の真向かいを東へ上る
「しんざが」は「新坂」と書いて文字通り
新しい坂道でした。新とは何時か、江戸時
代の最初だと推定されます。

北小弓城の時代は椎名から柏崎まで高
台は城や砦で、椎名富岡の高台の木の岡
砦、椎名崎の高台の椎名城、南生実の高台
の小弓城、生浜東小学校は長山砦、県立生
実学校は柏崎砦です。低地の海岸方面から
虎口や屈曲など防御施設もない高台への登
り道が有れば城攻めのルートになってしま
いますから、高台へ上る道は隠されていま
した。北小弓城の西側外堀は水堀(江戸時
代は生実大池から蓮池まで池が点在)でし
た。また、北小弓城四ノ丸の天神山から
横宿の山王山(お茶屋、旧威光院山、山王
宮跡)から下宿の加藤郭(妙印寺跡)まで
高台が繋がっていて、海岸方面から登坂で
きないように斜面を削って急崖にしていま
した(城の防御施設で切崖という)。北小
弓城主原氏の戦死により、破城として海
岸道路や台地の下道から直行で城地を通
過できる坂道が新設されたものでしょう。

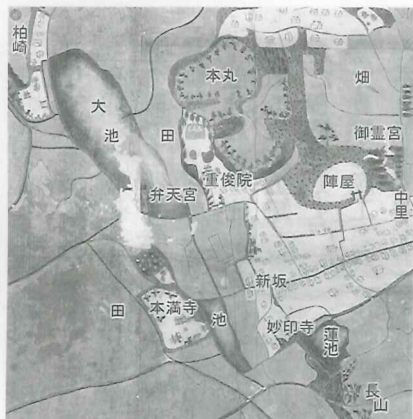
一五九〇年(天正一八)八月十九日西郷氏
が五〇〇〇石で生実の陣屋に入った時に作
った新坂道がもしれません。

森川家文書に「北生実村新坂ならびに横
宿坂普請願書、拝借金留めこれあり」(吟
味日記見出写「一七九四年寛政六」)と
記され、北生実村が新坂と横宿の坂の工事
をしたこと、その工費を借用したこと
を藩へ願ひ出ています(千葉市史料編
3 p143)。横宿の下丁は大池の弁天様
―重後院門前―組頭を勤めた内山家から新
坂の方へ向って各家の敷地ごとに段差があ
り、道はゆるい坂道になっています。横宿の
中程で、東の御霊様(生実神社)前の中里
へ行く細道がある三叉路のあたりから上丁
と呼び新坂の坂上に続く高台になります。

二三年前の工事は段差を削り、なだらかな
道にしたのでしょうか。大名行列が通れ
る道幅としては火の見櫓の所から生実藩陣屋
跡へ入る細道を最低基準と考えたと、江戸
初期から新坂の道幅も同じ幅だと思つので
すが、この工事では更に道路拡幅もやつた
であろうと推定されます。

新坂について、故穴倉健吉先生の昭和
四二年の聞き取り調査では、「以前は横宿
の道より上宿の方へ向って道幅が広くなっ
ていて坂の方は狭かった。坂は急であつた
ので空車でも上るに容易ではなかった。
坂は中央三尺位の中に石が敷いてあつた。
その当時は横宿の方の道を通っていた、と
いう」(「みあるき4」)とあり、新坂は石
敷きになっていたようです。

野田宿(菅田町一丁目)には一八〇四年
(文化この土気道(大網街道)の悪場百問
(悪路一八〇m余)に石を敷く費用の見
積り文書があり、一列敷きの場合丸太
四〇〇本を下敷きとして幅六〇cm×長さ
三〇cm程の石を六〇〇枚敷き並べる計画で
す。工費は現代の換算で約三百五十万円、
二列敷きは二倍の七百万円くらいの積
算でした。



1667年頃 北生実村絵図
(千葉県文書館蔵 森川家文書)

編集後記

本年も広報「おゆみ」を通じ、町内
会の活動や動向について、皆様に解か
りやすくお伝えしていきたいと思いま
すので、ご意見ご要望などありました
ら、町会役員まで声をお寄せ下さい。

この一年が皆様、並びに生実町にと
りまして佳い年でありまますようご祈念
申し上げます。
(総務・会計)